ひまわり

令和４年度第11号
山鹿市立大道小学校
令和5年1月13日発行
文責：校長　池田　功

子どもたちのはりきっている姿が見られます！

三学期も早朝より、あいさつ運動・ボランティアでがんばる子どもたちの姿が見られます。変わらず取り組むことができること、続けることができること、素晴らしいと思います。

二学期の終業式、三学期の始業式でも「あいさつをがんばった。」「あいさつをがんばりたい。」という発表がありました。それは。運営集会委員会の子どもたちが中心になり、あいさつ運動を毎日続けているからだと思います。運営集会委員会のがんばりが、周りの子どもたちの意欲につながっています。

もう一つは、子どもたちが、昼休みに外遊びができることです。特に、十日（火）の始業式の日には、久しぶりにあった友達と一緒に元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られました。元気に友達と遊べることも、本校の子どもたちの自慢です。

元気に遊ぶ子どもたち

ボランティア

あいさつ運動

一月十日（火）に始業式で三人の子どもたちが「冬休みの思い出」と「三学期にがんばること」の発表してくれました。三学期への意欲や期待が伝わりました。三人の発表を紹介します。

三学期始業式の子どもたちの発表

3学期始業式３人の代表者

冬休みの思い出と三学期にがんばりたいこと

二年　福原　未夢

わたしの冬休みの思い出は、おばあちゃんちに泊まったことです。三十一日は、いとこたちとご飯の用意を手伝って、夜はおなべとからあげとおすしを食べました。紅白歌合戦を見ながらみんなで楽しみました。十二時前に年こしそばを食べながら、新しい年を向かえました。ねむかったけれど、いい思い出ができました。

三学期にがんばりたいことが二つあります。一つ目は、勉強です。とくに、算数が苦手なので算数をがんばりたいです。計算をはやくできるように、たくさん練習をしようと思います。

二つ目は、あいさつです。だいたいできているけれど、していないときもあるので、いつもやりたいと思います。そして、一年生にお手本を見せられるように、わたしが進んであいさつをがんばろうと思います。相手の目を見て、さわやかな声であいさつをするようにします。

三年生に向けて、三学期をがんばります。

冬休みの思い出と三学期にがんばること

四年　上田　百華

私は、冬休みの間に、お母さんの実家の埼玉県に行きました。コロナでこれまで行くことができなかったので、すごくワクワクしていました。

ここで楽しかったことは、いとこと遊んだことです。久しぶりに会うので、会う前はきんちょうしていたけど、会って話していると、すぐに仲良くなりました。たくさん話したり、公園で遊んだりしました。特に楽しかったことは、不思議な石を見つけたことです。いとこと庭で遊んでいた時に、黒く光っているきれいな石を見つけました。今までに見たことがなかったので、不思議な石だなと思いました。たくさんあったので、その中から大きな石をいとこにプレゼントしました。すごく喜んでくれてうれしかったです。一年生の時から、会っていなかったので、一緒に過ごすことができて、とてもよかったです。これが、私の冬休みの思い出です。

次に、私が三学期にがんばりたいことが、二つあります。

一つ目は、勉強です。四年生になって勉強のレベルが上がり、苦手な問題もあったけど、これまで一生けんめいにあきらめずに、がんばりました。三学期は、四年生のまとめの学期だから、全部できるようになりたいです。そして、学力テストでは、苦手な文章問題をがんばりたいです。

二つ目は、なわとび大会です。私は、なわとびが得意なので、練習も本番もがんばりたいです。その中でも、大なわをがんばりたいです。わけは、みんなで協力してすることだからです。二学期には、音楽会の時にみんなで協力できたので、三学期は、さらにみんなで助け合って、いい記録を出したいです。

勉強も運動も、みんなでがんばって、下の学年のお手本となれるように、がんばります。

新年の抱負

六年　中嶋　虎春

今日から三学期が始まります。

ぼくは六年生になってから本当にあっという間に時間が過ぎると感じています。なぜそう感じるかを考えてみると、いろいろなことに挑戦してきたからだと思いました。運動会では、下級生に応援歌のふりつけを教える係に挑戦しました。うまく教えられなかったところもあったし、昼休みも全くなくて大変だったけれど、やってよかったなと今でも思います。

特に一年生がぼくのことを覚えてくれて、声をかけてくれることがうれしかったです。頼りにされるとか役に立つとかいうことが、やりがいになって、それにこたえられるようにがんばりたいと思うようになりました。

二学期のハンドボール大会では、友達と朝も昼も練習をがんばりました。ぼくは、この練習を通して、「やっぱりみんなで何かに向かってがんばるのは楽しい」と思うようになりました。最初はみんなボールをキャッチするのも上手にできなかったから、試合が成立しませんでした。でもみんなで朝から重いゴールを出して、昼休みも毎日練習していくうちに、パスが通ってシュートが決まるようになりました。キーパーの人もどんどんボールを止めるのが上手になりました。集まって作戦を立てたり、反省をしたりするうちに、「ドンマイ。いいよ。ナイスラン。」等の励ます言葉がどんどん出てくるようになって、苦手だった人たちもシュートを打とうとがんばっていました。本番の試合では、Aチームも Bチームも一緒に応援し合って、ぼくのチームは負けたけど、ぼくも、「落ちこまんでいいよ。いい試合だったと思うよ。」と心からチームの仲間に言えました。

三学期は、いよいよ卒業です。三ヶ月しかありません。個人的には、今毎日続けている自学を中学校に向けて三学期もやりたいと思います。それと、なにか役割をする機会があれば、すすんで立候補して挑戦しようと思います。何でもやった方が楽しいと思うからです。

それから、ぼくは周りの人を大切にしようと思います。ぼくには親友がいて、その親友はぼくの心の支えです。ふだんは言えないけど、本当に感謝しています。他にもいろんな人に支えてもらってきていることを、卒業までに改めて確かめながら生活したいです。

先生達もがんばっています！

本校では、課題解決のためにPJ部会（プロジェクト部会）を設けています。「やさしく部（豊かな人間性の育成）」「かしこく部（確かな学力の向上）」「たくましく部（健やかな体力づくり）」の三つの部会があり、月に2回開き、先生方が行事の確認や課題解決のアイデアを出し合っています。この部会で出されたアイデアが、「見つめるタイム」「パワーアップ月間」「メディアコントロールデー」等の取組につながっています。また、十二月には、「やさしく部」が「ありがとういっぱい運動」を行いました。

今後も、子どもたちの成長のために、アイデアを出し合える職員集団、挑戦し続ける学校でありたいと思います。

「かしこく部」の話し合い